

ユーザー感性スタディーズ専攻 コア・コンピテンス/ディプロマ・ポリシー/カリキュラムマップ

凡例	科目区分	学府共通科目	共通科目	基礎科目	専門科目	インターンシップなど	特別研究
(再掲は薄色表示)		学府共通科目	共通科目	基礎科目	専門科目	インターンシップなど	特別研究

学修目標			M1				M2				D1		D2		D3		
区分	修士課程ディプロマポリシー	博士課程ディプロマポリシー	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
A. 主体的学び・協働	MA-1. 多様な知を有する他者と協働し、諸学問領域に関する知識・能力を相互に享受しあい主体的に学び続ける姿勢を身に付けている。	DA-1. 多様な知を有する他者と協働し、諸学問領域に関する知識・能力を相互に享受しあい主体的に学び続ける姿勢を身に付けている。	融合・越境型PTL I		融合・越境型PTL II		融合・越境型PTL I		融合・越境型PTL II		上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	
	MA-2. 実社会における現実の課題解決に向けて、チームでの各個人の役割を認識しあい主体的に関わり、取り組むことができる。	DA-2. 実社会における現実の課題解決に向けて、チームでの各個人の役割を認識しあい主体的に関わり、取り組むことができる。	融合・越境型PTL I		融合・越境型PTL II		融合・越境型PTL I		融合・越境型PTL II		上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	
B. 知識・理解	MB-1. 感性的な側面を重視しながら様々な専門性を融合させるために必要な既存の学問分野の知識や概念を、本人の専門分野や関心領域を活かし説明することができる。	DB-1. 「感性」にかかわる学問を修めた博士 (Ph.D.) として、高度な専門性と広範で深い文化的・知的素養に基づいて世界を認識し、説明することができる。	越境ゼミ (1)		越境ゼミ (2)		越境ゼミ (1)		越境ゼミ (2)		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		
	MB-2. ファシリテーション、プロジェクトマネジメント、プレゼンテーションなどの他者との協働の際に必要な基礎的な知識を習得し、説明できる。	DB-2. 「感性」という側面を意識しながら本人が専門とする学問領域の知識や概念を説明することができる。	融合・越境リテラシー				融合・越境リテラシー				上級越境ゼミ (1)	上級越境ゼミ (2)	上級越境ゼミ (1)	上級越境ゼミ (2)	上級越境ゼミ (1)	上級越境ゼミ (2)	
	MB-3. 人間理解、共生、共創科目に関する本人の専門分野および周辺関連領域の高度な知識を習得している。	DB-3. 国際性と社会性を兼ね備えた専門的な知識を有する。	ユーザー感性スタディーズ概論	感性価値認知論	ユーザー参加型デザイン論		ユーザー感性スタディーズ概論	感性価値認知論	ユーザー参加型デザイン論		ユーザー感性スタディーズ特論	ユーザー感性スタディーズ特論	ユーザー感性スタディーズ特論	ユーザー感性スタディーズ特論	ユーザー感性スタディーズ特論	ユーザー感性スタディーズ特論	ユーザー感性スタディーズ特論
					地域マテリアルデザイン論				地域マテリアルデザイン論								
			感性価値マネジメント論		福祉とコミュニケーションデザイン		感性価値マネジメント論		福祉とコミュニケーションデザイン								
			メディアコミュニケーションデザイン論	感性生理心理学 (1)			メディアコミュニケーションデザイン論	感性生理心理学 (1)									
			デザイン価値創出論	感性生理心理学 (2)			デザイン価値創出論	感性生理心理学 (2)									
			感性人類学	感性哲学			感性人類学	感性哲学									
			人間発達学		人間発達学		人間発達学		人間発達学								
	文化と発達 (1) 文化と発達 (2)		文化と発達 (1) 文化と発達 (2)		文化と発達 (1) 文化と発達 (2)		文化と発達 (1) 文化と発達 (2)										
人間共生論		コミュニティ心理学 (1)		人間共生論		コミュニティ心理学 (1)											
O-1. 通用・分析	MO-1-1. ファシリテーション、プロジェクトマネジメント、プレゼンテーションなどの他者との協働の際に必要な基礎的な知識を活かし専門性の異なる他者との協働関係を構築できる。	DO-1-1. 「感性」という側面を意識しながら本人が専門とする学問領域と他の学問領域とを融合し、幅広い知識を理解・応用しながら、研究・実践に取り組むことができる。	融合・越境リテラシー				融合・越境リテラシー				ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		
	MO-1-2. 協働体制のもとにおいては、専門性の異なる他者に共感し、受容する姿勢を維持しながら、各課題の解決に臨むことができる。	DO-1-2. 融合のために必要な科学・芸術・文化・デザイン・コミュニケーション等について深く理解するために必要な分析、解釈、鑑賞を行うことができる。	融合・越境型PTL I		融合・越境型PTL II		融合・越境型PTL I		融合・越境型PTL II		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		
	MO-1-3. 人間理解、共生、共創科目に関する高度な知識・能力を統合して活用することができる。		特別研究(1)		特別研究(2)		特別研究(1)		特別研究(2)		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		
O-2. 評価・創造	MO-2-1. 諸学問領域の理論や方法を用いて、人・もの・環境のより豊かな関係性を想像し、必要なプロセスの組み立てができる。	DO-2-1. 諸学問領域の理論や方法を用いて専門性を相乗的に強化する融合を通して、より高度な教育研究の成果を創出することができる。	特別研究(1)		特別研究(2)		特別研究(1)		特別研究(2)		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		
			統合新領域最先端セミナー	記号過程デザイン論			統合新領域最先端セミナー	記号過程デザイン論			ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究		
			デザイン価値創出論	感性価値認知論	地域マテリアルデザイン論		デザイン価値創出論	感性価値認知論	地域マテリアルデザイン論								
			ミュージアム実践論				ミュージアム実践論										
	感性価値マネジメント論				感性価値マネジメント論												
	MO-2-2. マネジメントの理論や方法を用いて、専門領域の異なる人々との協働体制を創造し、専門性を相乗的に強化することができる。	DO-2-2. マネジメントの理論や方法を用いて、専門領域の異なる人々との協働体制を創造し、専門性を相乗的に強化することができる。	感性価値マネジメント論				感性価値マネジメント論				ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		
	MO-2-3. さまざまな社会における現実の課題に対して、知識・能力を応用して解決策を主体的に提案することができる。	DO-2-3. さまざまな社会における現実の課題に対して、知識・能力を応用して解決策を主体的に提案し、牽引することができる。	実践形成型フィールドワーク演習	文化と発達 (2)		コミュニティ心理学 (2)	実践形成型フィールドワーク演習	文化と発達 (2)		コミュニティ心理学 (2)	ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		
	MO-2-4. コミュニケーション力、共感性をもって、さまざまな社会における現実の課題に寄り添い、場の形成・運営に参与することができる。	DO-2-4. コミュニケーション力、共感性をもって、さまざまな社会における現実の課題に寄り添い、場の形成・運営においてリーダーシップを発揮することができる。	実践形成型フィールドワーク演習				実践形成型フィールドワーク演習				ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		

D. 実践	MD-1. 国際社会が求める融合型の研究能力及び実践能力を持つ。	DD-1. 国際社会が求める融合型の研究能力及び実践能力を持つ。	特別研究(1)				特別研究(2)				ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		
	MD-2. 大学や企業などの研究機関における実践型研究者あるいは教育者、即戦力としての活躍が十分に期待できる。	DD-2. 大学や企業などの研究機関における実践型研究者あるいは教育者、即戦力としての活躍が十分に期待できる。	感性生理心理学演習(1)		感性生理心理学演習(2)		感性生理心理学演習(1)		感性生理心理学演習(2)		ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究	ユーザー感性スタディーズ特別研究
			実践形成型フィールドワーク演習				実践形成型フィールドワーク演習										
	インターンシップ			インターンシップ				ユーザー感性スタディーズプロジェクト		ユーザー感性スタディーズプロジェクト		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究	
	MD-3. 企業や地域、各共同体などが抱える各種課題に対し、真摯に向き合い解決のための糸口を、他者を巻き込みながら開拓できる。	DD-3. 企業や地域、各共同体などが抱える各種課題に対し、真摯に向き合い解決のための糸口を、他者を巻き込みながら開拓できる。	ユーザー感性スタディーズプロジェクト				ユーザー感性スタディーズプロジェクト				ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		ユーザー感性スタディーズ特別研究		
		DD-4. 国際社会に必要とされる問題解決型のプロジェクトチームのリーダーとして、チームと協働しながら、指導的立場で遂行することができる。										上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II
	DD-5. 実践的場面における現実的課題に対し、融合力を活かした新たな科学、社会、経済を築いていくための企画力、コミュニケーション力、協働力、指導力などを備えている。										上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	
	DD-6. 即戦力となる「高度実践調査」、「高度実践企画」及び「高度実践研究能力」を持つ。										上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	上級融合・越境型PTL I	上級融合・越境型PTL II	
区分	修士課程ディプロマホルダー	博士課程ディプロマホルダー	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学修目標			M1				M2				D1		D2		D3		
アセスメント・プラン			修士論文の審査の中で、学修目標の達成度の評価を実施する。										博士論文の審査の中で、学修目標の達成度の評価を実施する。				